

「令和4年度 福岡方式（準好気性埋立構造）による 適正な技術移転に向けての研修会」を実施しました

- ・福岡方式グローバルネットワーク:FMGN（環境省・JICA・国連ハビタット福岡本部・福岡大学・SWAN-Fukuoka・福岡市・ふくおか環境財団等）の取り組みの一環として、ODAに携わる技術者を対象にした、廃棄物の最終処分場埋立技術「福岡方式（準好気性埋立構造）」による国内専門家研修を実施しました。
- ・本研修は、福岡方式に関する重要ポイントや誤りやすい点について理解を促し、実技演習を通して実際に処分場の計画や建設、維持管理等を体験することで、適正な技術の理解と的確な技術移転の推進を目的としたものです。
- ・本研修はJICA課題別研修「準好気性埋立（福岡方式）処分場の設計・維持管理」コースと合同で実施され、研修の様子はNHKのニュースウォッチ9でも紹介されました。

開催日時： 2022年10月11日（火）～ 10月21日（金）

参加者： 国内若手コンサルタント等 5名

※合同実施となるJICA課題別研修員は7か国8名

研修の様子



カードブレインストーミング法でディスカッション



簡易集排水管等の作成と設置実習（福岡市中田埋立場）



モニタリング実習（福岡大学 水理工学実験室）



閉講式

講義概要

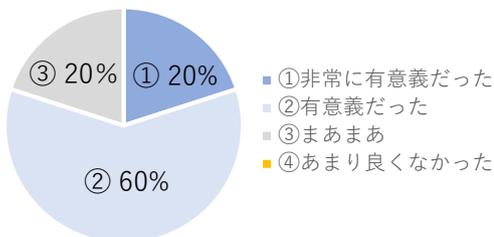
研修概要	種別	講義	実施場所	
オンライン研修 (1週目)	発表	JICA課題別研修員によるジョブレポート発表会	オンライン開催	
	講義	日本の廃棄物研究の変遷と福岡方式の開発		
		準好気性埋立構造の特徴		
		福岡方式による海外技術移転事例（マレーシア・イラン・ミャンマー）		
		不適正な埋立地設計事例と技術移転の留意点		
		埋立場のモニタリングとコンポスト技術の基礎知識		
		埋立地の安全閉鎖と跡地利用、浸出水の処理システム		
JICA課題別研修員との合同研修 (2週目)	講義	埋立処分場の計画（適地選定、主要施設の構造）	福岡市/中田埋立場	
		最終処分場の維持管理方法		
		覆土の利用方法について		
	講義・実習	測定の基礎知識と測量実習		
	実習	カードプレーンストーミング法でディスカッション		福岡大学
		廃棄物の投下～覆土工、築堤の造成、搬入道路整備実習等		
		重機のメンテナンス、機能の基礎		
		ガス抜き管等の作成、簡易集排水管等の作成と設置実習		
		開発途上国のための浸出水処理システム（ECO-FAN・トルネド）		
		モニタリング実習とコンポスト実習		
発表	JICA課題別研修員による自国の最終処分場の問題点整理	ふくおか環境財団		
	国内専門家発表会（Q&Aを含む）、維持管理動画視聴			

講師

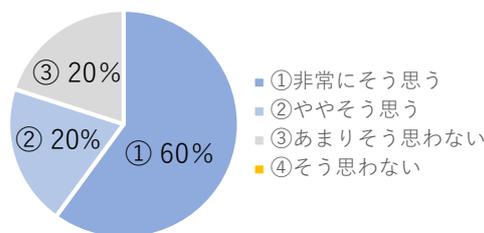
福岡大学	田中綾子 教授、 鈴木慎也 准教授、 平田 修 准教授
福岡市 環境局	梅木 孝 係長、 紫原直樹 係長
廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡 ：SWAN-Fukuoka	松藤康司 理事長、 真次 寛 SA、 吉村之仁 SA ※ SA:シニアアドバイザー
SGLコンサルタント(株)	江口義国 技術顧問
国際協力機構（JICA）	天野史郎 国際協力専門員
大成管理開発(株)	（技術サポート）

アンケート結果 (抜粋)

今回の研修を受講してみて
いかがでしたか？



研修内容は、今後の実務に
役立ちそうですか？



この研修を同僚にも
勧めたいですか？



お陰様で研修参加者からは概ね好評をいただきました。次回実施に向け、内容の充実を図って参ります。

